

綴書類

昭和七年六月十五日起案 起案者 捺印

昭和七年六月十五日 起案部 主務局、部 取扱者捺印

六月十日

起案部紙(甲)

人事局長

第二課長

局員

大臣

次官

副官

軍務局長

第一課長

局員

昭和七年六月十七日

大馬

侍從武官長宛

拜謁、件照會

別記 諸官今般上海方面より歸累來二十日

日上京可致候二付テ至務状況奏上、為

拜謁被仰付候様奏請相成度

當日東京驛より直ニ参内午前十時半拜謁上奏旨ニ侍從武官府ト

内議済

官房第二二二七號

毎

巨

保期	C04	永
機期	發付迄	永
機種	完結迄	永

8690

軍務局受
7.6.15
月 日

大馬
7.6.18
記 捺印

別記

海

軍

第三艦隊司令長官 海軍中將 野村吉三郎

第三艦隊外艦隊司令官 海軍少將 鹽澤幸一

第三艦隊參謀長 同 島田繁太郎

前上海海軍特別陸戰隊司令官 同 植松練馬

第三艦隊參謀 海軍大佐 羽仁六郎

第三艦隊隊長 海軍少將 川野勝次

第三艦隊軍醫長 海軍軍醫大佐 豊田實

第三艦隊主計長 海軍主計大佐 吉用茂雄

第三艦隊參謀 海軍中佐 阿部勝雄

元第三艦隊參謀 同 大西瀧治郎

元第三艦隊司令部附參謀 同 伊藤賢三

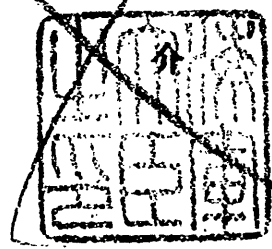
第三艦隊副官 海軍少佐 水野恭介

官房第三〇二六號

昭和七年六月十七日

侍從武官長 奈良武次殿

海軍大臣 岡田啓



拜謁ノ件照會

別記諸官今般上海方面ヨリ歸還來二十四日上京可致候ニ付テハ
況奏上ノ爲拜謁被仰付候様奏請相成度

又同時隨行者對ニ拜謁仰付候様
(別記添)

(終)

海軍



門司郵便局
氣附

軍船衣笠

特命檢閲使附

海軍少佐堀後一即

(送付済)

局員 乙

昭和七年六月十六日

原田人事局局員

堀江軍務局局員殿

特命檢閲使復奏並御披露其他三箇之件内報

首題ノ件ニ関シ侍從武官府ト協議ノ結果尤道内定

目下夫々手續中ニ付右ニ御承知相成度

尚変更ノ節ハ更ニ電報致スヘシ候

記

特命檢閲使復奏

六月二十七日(月)午前十時半

御披露

同日 午前十一時頃

一行御陪食

同日 正午

(終)

機造半葉十三行紙 (富井納)

海軍